

発刊にあたって



今、日本、そして世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に苦しんでいます。

本市でも、感染拡大を防ぎ、何よりも児童生徒の皆さんの健康と安全を守り、また家族をはじめ周囲の大切な人々の健康を守るために、国の要請に応じて、小・中学校をはじめ全ての市立学校・園の一斉休校を行いました。感染拡大の影響もあり、児童生徒や保護者の方々が楽しみにしていた一生に一度のかけがえのない行事である、卒業式の規模縮小や入学式の中止という状況となりました。

学年末の大切な時期に先生や友達と過ごす貴重な時間を奪い、新年度に新しい友達と出会う楽しみが先延ばしになるなど、子どもたちに悲しく寂しい思いをさせてしまったことは、非常に申し訳なく思っています。

そして、全国において緊急事態宣言が解除された後に、本市においても、分散登校を経て、6月19日から一斉登校による授業の実施などの取組みを始めました。

学校再開に当たり、まず、新型コロナウイルス感染症対策として、「学校・幼稚園における新型コロナウイルス感染症対応保健マニュアル」や「学校給食関係マニュアル」を作成しました。併せて、学校施設の換気や消毒業務を行う「学校業務補助員」を配置するなど、対策の徹底を図り、児童生徒の皆さんの健康と安全を守ることに努めています。

一方、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを持続的に実現させる「GIGAスクール構想」の一環として、1人1台端末の実現などを早急に実施するとともに、オンライン授業などの取組みを進めています。

また、臨時休校等により授業時数の不足や1学期の学習評価が困難なことから、令和2年度に限り2学期制を導入するとともに、行事の見直しやカリキュラムマネジメントの推進、長期休業日の短縮や学習支援のための教員を追加で配置するなど、学習面に関しても様々な対策を行い、学びの保障に努めているところです。

市民一人一人が私生活においても「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大を防止するために「北九州市あなたとあなたの大切な人を守る、5つの行動目標」の実践をお願いするとともに、今後も、子どもたちの健康と安全を守るという我々の使命を果たし、学習面についても誰一人取り残すことのないよう、取組みを行ってまいります。

令和2年9月

北九州市教育委員会 教育長 田島 裕美